

# 清水南のお宝めぐり

(真栗編)

福井市清水南小学校

清水南小学校では、十月二十日に全校で「清水南のお宝めぐり」を行いました。地区ごとに行ってみたい所を訪問して、地域の方から多くのことを教えていただきました。

真栗地区では覚永寺と竹内魚店を訪問しました。また、自治会長さんからは真栗のことをいろいろ教えて頂きました。

そして十一月十一日の学習発表会では五・六年生が自分たちの地区の宝としてみんなに紹介しました。

## 覚永寺

覚永寺は、真栗の南側にあり、お正月の初詣やお葬式の時などに地域の人をはじめ多くの人に利用されています。

覚永寺に入ると、まず目に入るのは、お寺の建物より大きいイチヨウの木です。このイチヨウの木は、三百年以上前からあるようですが、住職さんにも分からないくらい前からあるのだとお寺のシンボルとなっています。このイチヨウの木は、三年に一回すべての葉っぱを落とすそうです。



約三百年も前からあるイチヨウの木、実は今、切り倒されそうになっているんです。理由は、腐りにくい葉っぱが近所に飛ばされ、迷惑になっていたり、銀杏が落ちてくさくなったりすることから切り倒されそうになっています。お寺の人も、「お寺のシンボルだから切つてほしくない」と、おっしゃっていました。私も、この木は綺麗だと思っで、切つてほしくないなあと思っていました。

次に、建物の中に入るとまず目に入るのは、大きなお焼香と阿弥陀如来様です。阿弥陀如来様は宇宙の神様といわれており、すべての人を救うそうです。阿弥陀如来様の両脇には、戦争で亡くなった方の碑と前住職さんの絵と聖徳太子の掛け軸があります。そして右側には、この覚永寺で信仰されている、浄土真宗をつくった親鸞様の紙芝居が

飾られていて、左側には覚永寺を建てた時にお金を寄付してくれた方々の名前が書かれた板が貼られています。他にも、ほんこさんの前に叩く太鼓等があります。

ここでクイズです。

Q、昔、住職さんがお経をあげに行く時につかっていた乗り物は何でしょう。

- ①馬車
- ②手押し車
- ③籠

(答え) ③  
籠は、前は二つあったそうですが、吊つてあった一つが落ちて壊れてしまったそうです。

## 竹内魚店

竹内魚店は、昭和二十七年に建てられた真栗に古くからある人気の魚屋さんです。竹内さんご夫婦のお二人でお店を営んでいます。

竹内魚店では、魚を売る他に、法事の食事を準備するなどして、地域の方から利用されています。昔は、町内のはしからはしまで百件ほどお店があったけど、今はお店もお客さんも少なくなつてしまったそうです。

竹内魚店では、二十種類くらいの魚を販売しています。一番人気は鮭(むつ)だそうです。

お客さんの中には、「竹内魚店の鮭じゃないと嫌だ。」という人もいるくらい人気です。

私達もメギスの天ぷらを試食させて頂きました。メギスもとてもおいしかったです。

## (感想)

私は、竹内魚店ではどんな魚を売っているのか気になっていたので、お宝めぐりで初めて見せて頂いたり、くわしく教えていただいたりして良い思い出になりました。昔は、お店がたくさんあったという事にもおどろきました。

## 真栗町

私たちは、真栗町の自治会長さんからお話をうかがいました。まずは、「どうして真栗に清水南小学校ができたのか？」です。昔は、清水地区ではなく、清水町とよばれていました。

清水町はさらに前、三つの村に分かれていました。それは、

「志津村」、「三方村」、そして「天津村」です。その、三つの村が、合併して清水町になったそうです。



そして、真栗が天津村の中心となっていたから今、真栗町に清水南小学校があるそうです。

次に、「なぜ、春日神社が、学校のうらにあるのか？」です。

神社が、学校のうらにあるのは、全国的にもめずらしそうです。昔は、今のグラウンドと校舎の位置は逆で、元々はグラウンドと校舎の間に神社があったそうです。ですが、グラウンドと校舎をつなぐ渡りろうかが必要だったため、神社の参道をこわして、今の渡り廊下をつくつたそうです。

## (感想)

私たちは、今まで真栗の歴史のことを知らなかったけれど、この「お宝めぐり」を機会に知ることができてとてもうれい